

野口英世 生誕150年記念企画展

# 感染症への挑戦

過去・現在・未来

2026年 10.27.火 2027年 2.28.日 国立科学博物館 (東京・上野公園) 日本館1階企画展示室

主催 | 国立科学博物館  
公益財団法人 野口英世記念会

公益財団法人  
野口英世記念会

## 野口英世 生誕150年記念企画展

[Special Exhibition] The Battle Against Infectious Diseases: Past, Present, and Future

# 感染症への挑戦

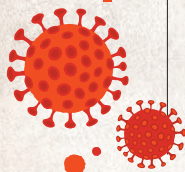
## 過去・現在・未来

### 1章

CHAPTER  
\_01

## 新型コロナウイルス感染症がもたらしたもの

「新型コロナウイルス感染症」が日本で流行した2020年から2021年を振り返り、感染症が決して遠い世界の話ではなく、私たちの生活に直接かかわる問題であることを実感していただく章です。



### 3章

CHAPTER  
\_03

## 野口英世が向き合った病原体

19世紀の微生物学の急速な進歩によって、相次いで病原体の正体が明らかにされました。野口英世は崇高な意思と、類まれな行動力とチャレンジ精神で感染症に挑みました。その生涯をたどりながら、野口の病原体への挑戦を紹介します。



【上】生家の柱に刻んだ決意文（レプリカ）  
【左】アフリカに持参した医療機器  
【右】研究で使用した病理標本



### 4章

CHAPTER  
\_04

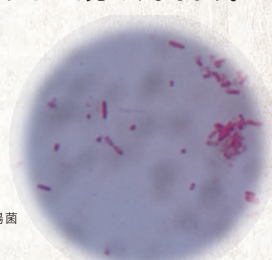
## 感染症を引き起こす病原体の多様性

実際に顕微鏡をのぞいて病原体を見ることができるコーナーも展開します。感染症とは何か、あらためて見てみましょう。



アスペルギルス・フミガーツス

大腸菌



### 5章

CHAPTER  
\_05

## 感染症研究の現在と未来

感染症研究は未来の社会を支える重要な基盤です。人間と病原体との関係、そして科学の果たす役割について考えます。

2026年は野口英世生誕150年にあたります。

野口らが取り組んできた感染症は、人類が太古から向き合ってきた病気であり、現在でも多くの取り組むべき課題があります。本展では野口英世の生涯のあゆみと業績を振り返り、先達が対峙してきた「感染症」との終わりのない闘いについて紹介します。



レーウェンフックの顕微鏡（レプリカ）

### 2章

CHAPTER  
\_02

## 感染症とは何か

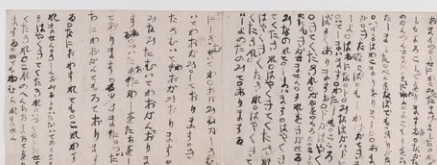
研究者による微生物の発見と感染症の原因解明への軌跡をたどりながら、感染症研究の歴史を振り返ります。



白鳥の首フラスコ

## 野口英世

1歳半の時に左手に大やけどを負いましたが、家族や恩師の支援によりその苦難を克服しました。自身が受けた左手の手術により医学のすばらしさを感じ、自らも医学の道を志しました。世界で活躍する細菌学者となりノーベル賞の候補にも挙がりました。



母の手紙の原本

明治29年（1896年）4月12日  
シカゴの母に宛てた手紙（複製）

母・シカの手紙

## 関連イベント ※詳細はホームページをご覧ください。

### 講演会

登壇者 細矢 剛（国立科学博物館）  
倉根 一郎（公益財団法人 野口英世記念会）  
森田 鉄平（公益財団法人 野口英世記念会）

### 映画上映会

『なぜ新型コロナウイルスが次々と世界を襲うのか』

（日本語字幕）

マリー＝モニク・ロバン監督

※イベントは予告なく変更となる場合がございます。



## アクセス

|                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| JR                | 「上野駅」公園口から徒歩5分    |
| 東京メトロ<br>銀座線・日比谷線 | 「上野駅」7番出口から徒歩10分  |
| 京成電鉄              | 「京成上野駅」正面口から徒歩10分 |

※館内に駐車場および駐輪場はございません

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20  
TEL : 050-5541-8600（ハローダイヤル）  
FAX : 03-5814-9898

<https://www.kahaku.go.jp/>

※詳細はホームページをご覧ください。

